

JSAF 2011 年度ナショナルチーム選考レース公示 兼 2011年ロンドンレオリンピック（英国）日本代表選考

主催：（財）日本セーリング連盟（オリンピック特別委員会）

運営主体：国立大学法人 鹿屋体育大学（海洋スポーツセンター）

後援：鹿屋市

協力：鹿児島県セーリング連盟、B & G鹿屋海洋クラブ、鹿屋市漁業協同組合、鹿屋市高須町内会

本大会開催の主旨

本大会は強風域が予想される ISAF ワールド（2011年12月パース）で五輪国枠獲得を達成する事を目的に2011年ナショナルチーム選手を選考する大会である

1. 会場：鹿屋市ヨット艇庫（B & G鹿屋海洋クラブ）

〒893-0054 鹿児島県鹿屋市高須町1522-1

2. 期日：2011年1月4日（火）～10日（火）

3. 競技種目：470級（男子/女子）、RS:X級（男子/女子）、レーザー級、ラジアル級女子

4. 日程：1月4日（火）10:00～16:00 受付・計測

16:00～ 開会式、スキッパーズミーティング

1月5日（水）9:55 最初のクラスの第1レース予告信号予定時刻 引き続きレース

1月6日（木）9:55 その日最初のレース予告信号予定時刻 引き続きレース

1月7日（金）9:55 その日最初のレース予告信号予定時刻 引き続きレース

1月8日（土）9:55 その日最初のレース予告信号予定時刻 引き続きレース

1月9日（日）9:55 その日最初のレース予告信号予定時刻 引き続きレース

17:00 成績発表（閉会式）

1月10日（月）予備日（470級男/女、レーザー級、ラジアル級女子、RS:X級男/女）

なお、日程の変更はそのレースが実施される前日の18時以前に発表される。

5. レース数及びレースの成立：

5-1 本シリーズの最大レース数は、15レースとし、シリーズの成立には10レースを必要とする。

1月9日（日）までに10レースが消化されていない場合は、10日の予備日を使いレースを実施するが、11レース以降のレースは行わない。

5-2 1日に実施するレース数は、3レースとする。但し、そのクラスが2レース以上前倒しされない場合に限り、風の状況、レース進行によって、1日につき1レースの追加レースを行う場合がある。

5-3 レースを行う最終日には15:00より後に予告信号を発しない。

5-4 予備日を使っても、大会成立のレース数10レースが実施できないと判断される場合は、大会期間中、帆走指示書の変更により、シリーズの成立に必要なレース数を変更する場合がある。

6. 適用規則：

- 6-1 国際セーリング競技規則2009-2012 (RRS) に定義された規則、(財)日本セーリング連盟規定を適用する。但し、レース公示と帆走指示書が矛盾する場合は、帆走指示書を優先する。
- 6-2 本大会は、RRS 付則 P を適用する。

7. 広告：

当日、主催者から広告掲示の要求があった場合は、艇はそれに従うこと。

8. 参加資格

8-1 2011 年度 (財) 日本セーリング連盟会員登録者およびクラス協会年度会員登録者

8-2 下記の権利のいずれかを有する者

(1) 470 級：

- ①2010 年度ナショナルチーム男女
- ②江ノ島オリンピックウィーク2010 総合成績男子10位以内、女子15位以内
- ③和歌山INTレガッタ2010総合成績男子10位以内、女子15位以内
※上記②③は (日本国籍を有する者から算定)
- ④2010 年470 級全日本選手権 総合成績男子25位以内、女子30位以内
- ⑤日本470 クラス協会の推薦を受け オリンピック特別委員会が参加を承認したチーム

(2) RS:X 級：

- ①2010 年RS:X 級ナショナルチーム男女
- ②ウインドサーフィン連盟の推薦を受けオリンピック特別委員会が参加を承認したチーム

(3) レーザー級：

- ①2010年度ナショナルチーム選手
- ②2010 年全日本選手権15位以内
- ③2010 年ミッドウィンター選手権15位以内
- ④日本レーザークラス協会強化委員会の推薦を受けオリンピック特別委員会が参加を承認した選手

(4) ラジアル級：

- ①2010年度ナショナルチーム選手
- ②2010 年ラジアル級女子全日本選手権10位以内
- ③2010 年ミッドウィンター選手権15位以内
- ④日本レーザークラス協会強化委員会の推薦を受けオリンピック特別委員会が参加を承認した選手

(5) ナショナルホープ (U-22選手：1990年3月以降に生まれた者)

オリンピック特別委員会、ジュニア・ユース育成強化委員会ホームページ
「お知らせ」に記載の条件を満たしている選手

9. 参加申込および参加料

9-1 (財) 日本セーリング連盟ホームページのオリンピック特別委員会ホームページから参加申込書をダウンロードし、下記宛 E-Mail にて申し込みの事 (E-Mail 以外は受け付けない)

9-2 E-Mail の申込みに対してはオリ特マネジメント委員会より受領の返信をいれる。

送信に関する不受理等の支障は、申込者の責任とする。

<参加申込E-Mail アドレス> mam-olytoku@jsaf.or.jp

また送信の際、メールの題名、添付するファイルは以下の様に入力する事

「2011 年NT 選考レース申込書+クラス+スキッパー名」

例：2011 年NT 選考レース 470級、スキッパー氏名<○○○○>

<参加料>

470 級：30,000 円 レーザー級・ラジアル級・RS:X 級：15,000 円

※U22: 470 級 : 15,000 円 レーザー級・ラジアル級・RS:X 級 : 7,500 円

参加料には1 月4 日から10 日までの施設利用料を含む。

<参加料送金先>

三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 口座番号(普)1192461

財団法人 日本セーリング連盟

<参加申込締切日/振込締切日> 2010 年12 月3 日(金)

* 送金の際は、スキッパー名を明記すること

* 期日を過ぎたエントリーについては参加料に5,000 円を加算する。

<競技/レース公示に関する問い合わせ先>

オリンピック特別委員会マネジメント委員会 mam-olytoku@jsaf.or.jp

10. 計測

10-1 参加艇は、その艇の責任者によって当該クラス規則に従うように維持されなければならない。

また全ての参加艇は、計測を受けなければならない。

10-2 470 級は、有効な計測登録証明書およびMeasurement Certificate を提示しなければならない。

11. 帆走指示書の交付

大会本部にて受付時に交付される。

12. レースエリア

レースエリアは鹿屋市高須港沖に設置する。詳細は帆走指示書に示す。

13. レースコース

帆走すべきコースは、**トラペゾイドコース、若しくは上下コースを予定する。**

14. 得点方式

14-1 RRS 付則A の低得点方法を適用する。

14-2 470級男子・女子は同時にスタートするが、別クラスとして得点する。

14-3 シリーズの得点はもっとも悪い得点とその次に悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

14-4 レース公示5-4が適用され、5レースから9レースまで完了した場合、もっとも悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

15. 支援艇

支援艇は、大会受付時に配布される帆走指示書に従わなければならない。

16. 予備

17. 責任の否認

17-1 競技者は、自己の責任において大会に参加するものとする。

17-2 主催団体、レース委員会、またはこの大会に関わる運営役員、ボランティアは、競技者の大会前、大会中、大会後の死亡、怪我、病気またはその他の物質的な損害について責任を否認する。

18. 保険の加入

18-1健康保険証を持参すること。

18-2 スポーツ安全保険等の傷害保険（賠償保険を含む）に加入済みであること。

18-3 参加選手は、ヘルムスマン/クルーの両者が保険加入することとする。

19. 賞

19-1 本大会の上位者から2011年度ナショナルチームを以下の通り決定する

(1) 470級男子 5艇

(2) 470級女子 3艇 (2010年度ランキングシステム特Aを含み4艇)

※但し、男子4位、5位チーム、女子4位チームのNT入れ替えを2011年10月末までに指定大会にて行う

(3) RS:X級男子 3艇

(4) RS:X級女子 2艇

(5) レーザー級 3艇 (2010年レーザー級全日本の優勝者を含む)

(6) ラジアル級 2艇 (2010年ラジアル級女子全日本の優勝者を含む)

※各クラスの2011年ISAF世界選手権の出場資格は本大会の成績上位者から与える

※2011年度のその他の国際大会参加資格、補助等の優先順位も本大会の成績順とする

19-2 本大会の各クラス最上位選手(チーム)を2011年8月英国(ウエイマス)にて開催されるプレオリンピック大会の代表候補とする。

19-3 2011年度ナショナルチーム資格について、上位の選手が辞退した場合、オリンピック特別委員会及びクラス強化担当者が協議し繰り下げるか否かは決定する。

19-4 各クラスのナショナルチーム数の増減について、オリンピック特別委員会及びクラス強化担当者が協議し決定する。

20. ドーピングコントロール

本大会はJADA およびJSAF 医事・科学委員会によるドーピング検査対象大会とする。

21. その他

(1) 艇搬出入

①参加選手は、鹿屋市ヨット艇庫(B&G鹿屋海洋クラブ)への搬入、搬出の申請を別紙「艇搬出・入届け兼宿泊申込書」に必要事項を記載し「参加申込書」と共にE-Mailで送付の事
なお、事前最終調整合宿参加者で提出済みの者は再度提出の必要はない

艇保管料 支援ボート(1,000円/1日) レース艇(500円/1日)

②オリンピック特別委員会では、臨時陸置き料の減免は行わない。

なお、レース艇については本大会およびその前に開催予定のナショナルチーム合同合宿期間を除き、事前練習日数に応じて1日当たり500円、また各チームの支援艇については全期間、

1日当たり1,000円の施設使用料が必要

本費用はオリンピック特別委員会において徴収し施設への支払いを行う

③艇搬出入に関する問い合わせ先:

国立大学法人 鹿屋体育大学 海洋スポーツセンター

〒893-0054 鹿児島県鹿屋市高須町2457

Tel: 0994-47-2758 (榮樂、坂口)

④レース艇等の搬入は、原則2010年12月29日(水)から受け付ける。それ以前に搬入希望の場合は「艇搬出・入届け兼宿泊申込書」に記載、E-Mailで送付すると共に上記、鹿屋体育大学 海洋スポーツセンターに事前に問い合わせをすること。

(2) 宿泊の斡旋

オリンピック特別委員会において鹿屋体育大学宿泊施設利用を斡旋する (泊2食一般選手3,000

円、U-22選手 1,500円)

宿泊希望者は別紙「艇搬出・入届け兼宿泊申込書」に必要事項を記載し「参加申込書」と共に E-Mail で送付の事

なお、事前合宿参加者で全期間の宿泊について申込提出済みの者は再度提出の必要はない
申込に伴う宿泊費はオリ特で徴収し一括して支払う

以上